

高等教育機関への期待

— 栃木県高等教育連絡協議会での講演内容御報告 —

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます

開倫塾の塾長の林明夫です。今朝も開倫塾の時間を聞いて頂いて有り難うございます。

2. 大学、短期大学、専門学校など高校卒業後の進学先を高等教育機関とありますが、11月12日火曜日に栃木県の高等教育機関連絡協議会が宇都宮の「プラザインくろかみ」でありました。私は依頼を受けまして「これからの高等教育について」お話しをさせて頂く機会がありました。宇都宮大学はじめ、県内の大学、暖気大学の学長先生をはじめ、事務局長さんなど30名くらいお集まりになり、その方々の前で45分間「高等教育機関への期待」という題で講演させて頂きました。今日そのお話しをさせて頂きます。

3. 今は高等学校を卒業したあと大学、短期大学へ50%の方が進学されています。なおかつ、専門専修学校含めると7割の方が進学されています。どのようなことを栃木県の大学、短期大学、高等専門学校で教えて頂きたいかということを経験者の立場からお話しさせて頂きました。偉い先生ばかりで、非常に緊張しました。栃木県の高等学校卒業したばかりの方は東京や全国に進学なさる方がいらっしやいます。できれば今はデフレ、大不況、大株安で、非常に景気が悪いので、県内の大学、高等専門学校に進学できるような形になってほしいです。いいにくい話ですが、県内の子供たちが高等学校後に「進学するに値する」ような中身を整理していただきたいと、僭越ながらはなしをさせて頂きました。

4. それからいろいろなところで社会人の方がコミュニティスクール、コミュニティーカレッジ等の公開学習講座で学習されています。私も1995年から2000年頃まで、上智大学のコミュニティーカレッジで毎週土曜日、それ以外の日も週2日～3日夜、東京へ行ってできる範囲で勉強していましたが、ですから、栃木県でもできれば本格的なコミュニティーカレッジを、夜間や土曜日に各大学で始めて頂きたいと話しました。一から、はじめから英語を勉強したい方もいますが、特に一度英語を勉強した方がもう一度、上のクラスの勉強したいという英語の中級クラス、上級クラスの需要は山ほどあります。

5. 高校卒業後すぐの18歳の方だけでなく、社会人、お年を召した方、熟年のかたもいかれるのが欧米の大学です。一度社会でしばらく仕事をされて、もう一度高等教育機関にいきたいという方を社会人枠でとっていただきたい。ドイツなどでは60歳以上の方が数多く大学にいらしています。で

すから単位聴講とか、特別枠でお年寄りの方、熟年の方を対象としたシステムを作って頂いて、一般の学生といっしょに聴講させて頂きたいと御願いました。社会の方が大学院にいかれるということが非常に盛んです。アメリカ、ヨーロッパでは大学終わってからすぐに大学院に行くのではなくて、大学卒業後しばらく仕事をして、お金を貯めて必要性が感じられたら大学院に進学するというのが普通です。学者になれる方は別ですが、35歳、45歳、55歳、65歳それ以上の年齢になって、大学院に進む方、必要に応じて社会人が大学院に進むというのが普通です。できれば学者になりたい方だけでなく、一般の教養型の大学院も栃木県にもっと広めて頂きたいと提言しました。これから先、大学は18歳すぎた方がいくだけでなく、一度社会にでられたかた、仕事を終えて退職されたかた、家庭ですごされた女性の方たちがいくのが大学であり、大学院であるというのが世界の潮流です。是非、そのような形で栃木県の大学を整備して頂きたいと御願しました。皆さんによく聞いて頂いて有り難いなと思いました。

6. 最大の問題点は、これだけ栃木県内でも大学、大学院に進学したい方がいらっしゃるのに、大学、大学院は国の管轄なので、栃木県自体で大学をどうしようとか、難しい言葉で「高等教育政策」をどうしようとかいう担当の部署が県にないのです。教育委員会にも担当の部署がないのです。大学を設立する時には、国には担当の部署がありますが、設立後、栃木県として栃木県民のために「高等教育政策」を検討する部署がありません。是非、栃木県全体で考える必要がある。栃木県は本気になって社会のための高等教育機関政策を考えてもらいたい。また、栃木県内の高等教育機関を担う方々には社会人の就学の機会を増やしてもらいたい。とりわけ大学院で勉強する機会を社会人に与えていただきたいと御願しました。

7. 毎回お話しして恐縮ですが、この放送を聞いて頂いている方の半分以上は車を運転していると伺っていますので申し上げたいのですが、くれぐれも車を運転中の方は前の車に追突しないように車間距離を十分とって運転して下さい。ぴたっと前の車について運転することは危険の上なくて、自分の命を縮めますし、後続の車の方の命にも大きな影響を及ぼします。特に高速道路を走っている方は十分注意して下さい。お願い致します。